

## 国立大学法人九州工業大学学長の業務執行状況の確認結果について

令和5年8月7日  
国立大学法人九州工業大学  
学長選考・監察会議

国立大学法人九州工業大学学長選考・監察会議規程第3条第1項第4号に規定する学長の業務執行状況について確認を行いましたので、その結果を公表します。

### 1. 確認の経過

- (1) 令和5年度第1回経営協議会（令和5年6月16日開催）において、学長から「業務執行状況の報告」があり、質疑応答が行われた。
- (2) 経営協議会終了後に、令和5年度第1回学長選考・監察会議を開催し、業務執行状況の確認方法とスケジュールについて確認が行われた。
- (3) 令和5年度第2回学長選考・監察会議（令和5年8月7日開催）において、学長の業務執行状況について最終的な確認を行った。

### 2. 確認方法

学長の業務執行状況の確認にあたり、学長による業務執行状況の報告のほか、以下の資料等を参考に行った。なお、令和5年度第1回および第2回学長選考・監察会議において監事も出席し、その意見を反映した確認結果となっている。

（参考資料）

1. 所信表明書
2. 監事監査報告書

### 3. 確認結果

学長選考・監察会議は、学長の業務執行状況が適正であることを確認した。

具体的なアクションプランを含んだビジョンをもとに、学長就任後1年という短期間ながら非常にエネルギッシュで数多くの取り組みを実施している。特に、全体最適化を目指した本部制の導入は、迅速な意思決定を可能にするなど目に見えた成果も現れており、また、コンプライアンス室を本部とは独立させ学長直下に設置したことによって、本学の多様性を支える基盤として効果的に機能している。女子学生比率の上昇や、外部資金獲得額の増加などにおいて、客観的な成果も見て取れ、今後の更なる進展が期待できる。

今後、本部制など新たに導入した取り組みの効果についての検証を行うことで、業務の効率性を追求し、さらに働き方改革を推進してもらいたい。また、外部からの視線を意識した視点も持つことで、大学の知名度を向上させる取り組みを進めることにも期待したい。